

## いなべ市の取り組み

いなべ市は2020年に「SDGs未来都市」および「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。そこで、SDGsを推進する取り組みのひとつとして、学校給食を題材にフェアトレードについて学ぶ、小・中学生向けの動画を制作しました。市の職員が学校などで動画を使用して授業を行い、身近なことが持続可能な社会づくりにつながることを伝えています。

今後は、市内の保育園などへの、フェアトレード食材の導入を目指していこうとしています。



羽場さんも出演中!

「いなべフェアトレードタウン」の活動や、いなべ市内のフェアトレード取扱店についても紹介しています。



いなべの新たな市民活躍の拠点「にぎわいの森」から発信するSDGsを紹介している動画も見ることができます。

▲いなべ市ホームページ「SDGs動画」

## 「いなべフェアトレードタウン」との関わり

いなべ市は、フェアトレードの普及や、まちの活性化のため、市民団体「いなべフェアトレードタウン」の活動を支持しています。

市として、タウン認定までは協働して活動を行っていましたが、活動が軌道に乗った現在は、広報の協力などのサポート的な役割を担っています。

中世古さん「フェアトレードの活動は、団体やお店、市民のみなさんが主役です。今後も市として見守りながら協力していきます」

いなべ市商工観光課

なかせこ まお  
中世古 真央さん



## フェアトレード × 地域

羽場さんたちの活動や、フェアトレード

への理解が広まったことで、いなべ市内にはフェアトレードの商品を販売するお店が増えてきています。お店によつては、フェアトレードの食材を使用したお菓子などの地域「コラボ商品」を販売しています。

羽場さん「フェアトレードが発展途上国のためだけでなく、地域のお店の活性化にもつながると実感して欲しい」と考えました。

初めての「コラボ商品は、老舗の和菓子屋さんの「和さぶれ」です。フェアトレードのチョコレートを\_using\_しています。これをきっかけに、各店の特色を生かした「コラボ商品」が次々と生まれています。



フェアトレードの塩を使用したラスクやせんべいなど。せんべいは、いなべの野菜を使用しています。



商品説明のポスターや、お店の情報をまとめたフェアトレードタウンマップを作成して、商品やお店の魅力を広く伝える工夫をしています。



いなべフェアトレードタウンの  
特徴 ①

## エコバッグでスタンプラリー

いなべフェアトレードタウンの  
特徴 ②

フェアトレード取扱店をめぐって、専用のエコバッグにスタンプを押すスタンプラリーを、今年の春に開催しました。フェアトレード以外の商品の購入や飲食もスタンプの対象となっているのがポイントで、地域のお店と世界の生産者のどちらにも応援する取り組みです。

今回の取り組みが好評のうちに終了したことは、羽場さんたちにとつて、次に繋がる大きな自信になりました。今後は新しいお店にも声をかけて、さらにフェアトレードの輪を広げていきたいと考えています。



スタンプラリーに使用したエコバッグは、フェアトレード認定、オーガニックコットンを使用しています。

## フェアトレードで地域の店と市民をつなぐ

羽場さんは、顔なじみのお店で買い物することで得られる安心感やコミュニケーションは、とても大事だと感じています。地域の小さな店が存続していくためには、そのまちに住む人が利用することが必要です。

そこで、年に一度決められた日は、地域の小さな商店で買い物しようというアメリカの「スモール・ビジネスサタデー」という取り組みをモデルに、いなべ市がフェアトレードを通じて地域のお店と市民をつなぐまちになっていくように、活動していきたいと考えています。

また、今の状況（新型コロナウイルス感染症）が落ち着いたら、大きく情勢が動いているミャンマーについて知ってもらい勉強会などを開催して、みなさんに世界へ目を向けてもらおうきっかけ作り

の場を作ろうとしています。

羽場さんは「少ない人数で活動しているので、今後も無理せず楽しみなながら続けたいです」と話してくれました。

私たちの買い物で世界も地域も変える



フェアトレードタウンの活動は、開発途上国の生産者の人権や環境を守ることに、地域の生産者やお店を大事にしたまちづくりの両方を担っています。持続可能な社会のためには、開発途上国との公正な取引と同じように、地域で生産されたものに対しても公正な取引が行われることは、とても大切です。

私たち消費者が、どのお店で、どのような商品を選んで買い物するかによつて、世界や地域が変わるというのは決して大げさなことではありません。みなさんもフェアトレードの商品や、自分の住むまちのお店を意識して買い物をしてみませんか？

「エシカル消費」は、その商品に携わるすべての人を思いやることと言えます。今回特集した「いなべフェアトレードタウン」は、誰かを思いやる優しさにあふれたまちです。そんな魅力あふれる場所へ、ぜひ足を運んでみてください。

写真提供 いなべフェアトレードタウン、いなべ市